小田急線上部利用施設に関する区の取り組み等について、ご報告します。

世田谷区では、北沢デザイン通信を通じて、小田急線、代々木上原駅～梅が丘駅間、沿線の街づくりの情報を幅広くお知らせしています。本号では、平成30年度におこなった第5回、第6回の北沢デザイン会議と、区が整備する小田急線上部利用施設に関する取り組み等の情報についてご報告します。

日時:平成30年7月1日、日曜日、10時～12時30分 　場所:北沢タウンホール 2階ホール 参加者:約150名

プログラム

 1.開会あいさつ
世田谷区長 保坂 のぶと

2.経過報告及び今後の取り組み

 ・世田谷区上部利用施設の情報

 ・小田急電鉄上部利用施設の情報

 ・京王電鉄の取り組み紹介

 ・北沢PR戦略会議の活動

3.デザインアドバイザーより

4.意見交換

世田谷区長　保坂のぶと

北沢デザイン会議を開始してから4年が経つが、その間に小田急線の連続立体交差事業及び複々線化事業は進捗し、平成30 年3月に複々線化が完了、下北沢駅の駅舎の完成まで残り数ヶ月となり、ゴールが見えてきた。

・区は、小田急線上部を魅力あるひとつながりの連続した空間づくりのため、北沢デザインガイドを策定し、デザインアドバイザーである東京大学の出口教授に助言をいただきながら上部空間を共有する小田急電鉄と情報交換し、整備を進めている。

・本日の開催において、小田急電鉄とけい王電鉄の多大なる協力に感謝する。

・長い道のりだがゴールを見据えながら、実り多き議論を進めていきたい。良いまちにしていくため、区も総力を上げていく。

デザインアドバイザー　出口敦氏　東京大学大学院 新領域創成科学研究科 教授

上部利用の整備に関わる様々な主体から情報提供があった。課題として5つのポイントを伝えたい。

１　北沢デザインガイドを関係者間で共有して、計画・設計・維持管理における考え方を揃えること。

２　デザインを評価、判断する際の観点を明確にすること。例えば、交通の安全性、景観、プライバシー、コストなどである。

３　施設整備後の利活用、マネジメントについて、管理担当者を含め事前調整を進めておくこと。

４　施設の維持管理、運営の難しさを認識すること。担当が現場レベルで、ファニチャー等の施設と利用者や近隣住民との関わりを的確に捉えておく必要がある。

５　公民が連携して進めること。区・事業者・住民による活発でオープンな場を盛り上げてほしい。

経過報告及び今後の取り組み

世田谷代田駅から東北沢駅までの、上部利用施設の情報などを報告しました。

北沢デザイン会議とは、小田急線沿線の街づくりに関する 取り組みを報告しています。情報共有、意見交換の場です。世田谷区が開催しています。

意見交換　ボードセッション

当日は、上部利用施設の詳細をボードや模型などで

ご紹介し、担当者が一人ひとりのご質問に答えました。

日時:平成31年2月16日　土曜日　13時～15時　場所:北沢タウンホール 2階ホール　参加者:約160名

【プログラム】

1.開会あいさつ 世田谷区長 保坂 のぶと

2.経過報告及び今後の取り組み

 ・世田谷区上部利用施設の情報

 ・小田急電鉄上部利用施設の情報

 ・京王電鉄の取り組み紹介

 ・北沢PR戦略会議の活動

3.デザインアドバイザーより

4.意見交換

世田谷区長 保坂 のぶと

・小田急線が地下化された線路上部をどのように活用していくのかを考えるにあたり、これまでワークショップなどを通じてたくさんのご意見をいただいた。

・ようやく梅が丘駅から代々木上原駅までの鉄道地下化に伴い生じる線路上部の計画の全体像が見えてきた。

・下北沢駅の南西口についても、参加と協働による整備を通じて、使いやすい空間の計画になったことは大変すばらしいことだと考える。

・参加と協働による整備を土台にした施設計画が完成していけば、たくさんのかたに北沢の街に来訪していただけると思う。

・下北沢らしい新たな付加価値を活かした、21世紀の東京の街づくりとしてひとつの新しい形を発信していけるとよい。

デザインアドバイザー　出口敦氏

・ 3年半ほど前に策定された「北沢デザインガイド」が共有されて、施設のデザインが小田急線上部空間の一体的な整備に反映されつつあり、これまでの積み重ねの成果として評価したい。

・ 各事業者の施設整備がそれぞれ佳境を迎えており、相互にデザインを調整する必要性がますます高まっている。

・ 長年かけて段階的に、かつ複数の事業者が参画する事業は、その時やその場所で、部分の最適化を求めてしまうということになりがちである。全体を俯瞰しながら、周辺環境との調和をはかり、景観の一部としてデザインを考えていただきたい。

・ 下北沢駅の南西口に広場を整備する計画は、人が留まれる空間、 休憩できる空間として重要であり、災害時にも役に立つ。

意見交換　ボードセッション

意見交換では、区の施設整備に関する報告ボードをはじめ、小田急線上部利用施設や下北沢駅周辺など複数の模型を展示しました。また、この後行われた北沢PR戦略会議の部会活動の報告ボードも並び、参加者と各ボードの担当者が熱心に意見を交わしました。

第3回報告会では、これまでの活動内容とこれからの取り組みについて、8つのテーマの発表がありました。

引き続き、北沢PR戦略会議、代3回報告会が開かれました。

北沢PR戦略会議とは

区施設の活用や、上部利用施設と周辺 のまちの魅力を高める区民参加の 活動を検討し、実践していく場です。 世田谷区が活動を支援しています。

第3回報告会では、これまでの活動内容とこれからの取り組みについて、8つのテーマの発表がありました。

街づくりの中間点

平成31年3月には、小田急線連続立体交差事業が完了を迎えました。上部利用施設も現在、東北沢駅や世田谷代田駅の駅前広場整備を行っており、今後も順次、整備を進めていきます。

 現在整備を進めている施設の、整備前と現在の様子を写真でご紹介します。

施設整備から街づくりの実践の場へ

区では、緑地・小広場など区の整備する施設の管理について、ワークショップなどを通じて意見 を出し合い、親しまれる公共空間の創出に取り組んできました。上部利用施設の整備が進み、全体 像が見えてきたことから、北沢PR戦略会議では、区民参加による施設の活用方策やまちの魅力を高める活動内容を検討するとともに、実践に向けた取り組みを進めています。

北沢PR戦略会議における部会活動は3年目を 迎えました。この間、9つの部会では、まちを取り巻く状況を把握し、様々な団体との交流を通じ、様々なまちの困りごとやまちの課題を見出してきました。その中で、困りごとや課題などの解決に向けて、自分たちのこととして、考え、話し合いを重ね、自主的な取り組みを実践することで、アイデアひとつ、工夫ひとつでまちの魅力アップにつながることに気づきを得ました。こうした取り組みの輪を地 域の皆さまと一緒に広げていきます。

地域の活動の一例

 個性豊かなまちの魅力を高めようと、新たな活動があちらこちらに生まれています

みごろはな植え隊

地域の方々が区の協定制度に基づき、清掃や花壇管理などを行っています。

【下北沢駅前の案内所】

北沢PR戦略会議のメンバーが中心となり、下北沢駅前で仮設の案内所を開所しています。不定期

【まちピアノプロジェクト】

北沢PR戦略会議の発案で、駅などまちの中にピアノを置いて、自由に演奏できる場所を作るプロジェクトです。

【問い合せ先】

世田谷区北沢総合支所まちづくり課 〒155-8666 世田谷区北沢 2の8の18 北沢タウンホール 11 階 電話 03-5478-8031 ファクシミリ 03-5478-8019